

令和5年度第5回地方独立行政法人京都市立病院機構理事会 議事録（要旨）

- 日 時： 令和5年10月31日（火） 午後2時38分から午後4時15分まで
- 場 所： 京都市立京北病院2階大会議室
- 出席者： 理事長 黒田 啓史
理 事 清水 恒広、岡野 創造、半場 江利子、松本 重雄、
山本 みどり、白須 正、小畑 英明
監 事 長谷川 佐喜男、中島 俊則
事務局 長谷川経営企画局次長、大島京北病院事務管理者・統括事務長、菱田経営企画課長
京北病院長 安田 達行

1 開会

2 報告事項

(1) 京北病院取組状況報告

資料1に基づき、京北病院長から報告。

- 京北地域内の医療・介護サービス一覧について、特養及びグループホーム、ケアハウス、有料老人ホームのそれぞれの協力病院はどこか。
→ 京北病院である。
- 医療保険の病床に関して、病床利用率の低下及び平均在院日数が短くなっている背景について教えてほしい。
→ 治療を終え、リハビリなどを行うということもさることながら、早期に退院してもらうという考えで、「患者を退院させる」ことが病院スタッフの成果になっている向きがある。
→ 急性期病院中心の医療制度の中で、退院に意識が向いているのは理解できるが、急性期リハビリテーションや地域包括ケア病床をしっかりと活用していくことも必要である。京北病院ならではの入院及び退院の考え方があって良いと思う。
- 京北地域の人口減少の比率は京都市より大きいのか。京北地域の人口減少を食い止めるために、産業や観光の活性化などは実施していないのか。また、京北病院の強みについて教えてほしい。
→ 京北地域のまちづくりについて、平成27年度に京北未来かがやきビジョンを策定し、光ファイバーなどの超高速回線インターネットの環境の導入や令和2年度に京都京北未来かがやきビジョン推進会議を設置し、継続して地域への移住促進、またSDGs関連の取組活動などを行っている。
→ 京北病院を知っていただくような取組や努力は不足している。下半期には、右京区内の居宅介護支援事業所などに当院のアピールをしていきたい。
- 京北地域における4つの診療所の運営状況はどの程度か。
→ 補助金や地元からの施設貸付により赤字にはなっていないものの、やはり京北病院から医師を派遣する人的な負担という側面はある。
- 令和5年度上半期は、新入院患者数が若干上向きであるが要因について教えてほしい。
→ 自ら（病院長）も入院診療に携わるなかで、入院適用の考え方として、病状以外にも家庭環境

を考慮したレスパイト入院などで、入院診療の閾値を幅広く捉えており、その考え方が院内全体にも波及してきていると思われる。

- 京北地域における4つの診療所の医師は何科か。
→ 内科である。診療所で診察を行い、検査などは京北病院で行っている。
- 京北地域における開業医は、やまもとクリニックだけか。また、診療科は何か。
→ 内科である。
- 京北地域における医療保険病床及び介護老健施設は京北病院が担っているため、採算ばかり考えてはいけないと思う。地域的な必要性和収支双方のバランスを考え、病院経営をしていくべきである。
その一方で、やはり、病床稼働率が50%を下回っており、全体のコストの内の人件費率が高い。人口が減少している中、病床稼働率を向上させることは難しいと思うので、オンライン診療などはできないのか。
→ オンライン診療は現在、実施していない。

(2) 月次収支報告（8月まで）

資料2に基づき、事務局から報告。

- 市立病院における今年度（8月まで）の経常損益は、▲724百万円であるが、新入院患者数の減少及び材料費の高騰が赤字の要因か。
→ 延入院患者数の減少が一番の要因である。また、物価の高騰により材料費や薬品費の値上げが発生しており、収入が支出に追いつかない状況である。その様な中、入院患者数増加に向けた取組及びDPC入院期間Ⅱを意識した病床マネジメントに取り組んできた。診療報酬単価は増加しているが、依然として在院日数は短く、延入院患者数が伸びなかったことにより、経常収入は令和元年度と同水準となった。今後、各診療科に割り当てられたベット数を適正に稼働させるため、DPC入院期間Ⅱまで必要な入院をしていただけるような病床マネジメントの実施、新入院患者数の増加に力を入れていく必要がある。
- 病病連携について、どの程度力を入れているのか。
→ 病病連携に取り組んではいるが、どちらかと言うと、急性期を過ぎた患者を回復期の病院に送ることに重点を置いてきた。紹介患者はできる限り、断らないよう職員に周知している。職員一人ひとりが病院の現状を理解し、できることに取り組んでいくよう発信をしているが、現場全体にはまだ行き届いていないところもある。今後、そのような点を改善していきたい。
- 薬価が値上げされることにより赤字が膨らむのか。
→ 赤字の要因は、入院患者数の減少が一番の原因である。赤字が膨らんだ一要因として、物価高騰による材料費や薬品費の値上げがある。高額な薬品ほど利益率が悪い。

3 その他
なし

4 閉会